

2011年11月10日

経済産業省平成23年度G空間プロジェクトとして  
位置情報を利用した街を楽しむプロジェクト  
**「ロケーション・クルーズ・プロジェクト」を11月末から二子玉川で開始します**

東京急行電鉄株式会社  
国際航業グループ

東京急行電鉄株式会社（以下、「東急電鉄」）と、国際航業グループ（国際航業ホールディングス株式会社）傘下の国際航業株式会社（以下、「国際航業」）は、国際航業が開発する「位置情報サービス（以下、LBS）プラットフォーム」と、東急電鉄が開発する「街楽しみサービス」とを連携させた新しいサービスを提供する「ロケーション・クルーズ・プロジェクト」（以下、本プロジェクト）を、11月末より東京都世田谷区の二子玉川駅周辺で開始します。

本プロジェクトは、経済産業省の平成23年度「産業技術実用化開発事業費補助金（次世代高信頼・省エネ型IT基盤技術開発・実証事業）＜G空間プロジェクト分野＞」で8月に採択された事業で、二子玉川で過ごす人たちが所有するスマートフォンや携帯電話を利用することで、新しい街の楽しみ方を提供するプロジェクトです。国際航業が提供する「LBSプラットフォーム」は、二子玉川の地域情報や店舗情報、防災に役立つ情報などのさまざまなコンテンツを、屋内外の位置情報や時間情報と連動して提供します。東急電鉄が提供する「街楽しみサービス」は、街を回遊し情報を収集すればするほど、行動ログの解析によりその人に応じた情報を返してくれるサービスであり、長く滞在したくなるような街の楽しみ方を提供します。

本プロジェクトは二子玉川ライズ S.C.などの商業施設や、二子玉川近隣の商店街などで提供され、安全・安心で賑わいのある街の創出や地域活性化に寄与することを目指します。

本プロジェクトは、東急電鉄と国際航業が会員として参画する「クリエイティブ・シティ・コンソーシアム」の各種活動や交流をきっかけに協業が始まり、実現したものです。

「G空間プロジェクト」、「クリエイティブ・シティ・コンソーシアム」の詳細は別紙の通りです。

以 上

## 【別紙】

ロケーション・クルーズ・プロジェクトWEBサイト

<http://www.creative-city.jp/locationcruise>

### G空間プロジェクト

地理情報や位置情報などの地理空間情報を活用したサービス産業の創出を目的として平成20年に「地理空間情報活用推進研究会」において「地理空間情報サービス産業の将来ビジョン」がとりまとめられました。このビジョンの実現に向けて、経済産業省が推進する政策パッケージが「G空間プロジェクト」です。具体的には、

- (1) 地理空間情報が流通する基盤の整備
- (2) 生活や産業における利用の高度化
- (3) 測位衛星等からの位置情報を有効に活用できる環境の整備

を柱に、地理空間情報を三次元座標とデータ更新時刻をキーとして容易に重ね合わせて有効な情報活用ができるデータベースモデルの構築や、屋外・屋内シームレスに測位データを利用するサービス実証などの取り組みが推進されています。

### クリエイティブ・シティ・コンソーシアム

将来の日本経済において重要な役割を占めるクリエイティブ産業にとって、その発展を支えるクリエイティブな人材や産業を集積することができる「都市の役割・機能」が重要であると考え、2010年8月、小宮山宏氏を会長に民間企業6社の発起により設立されました。その都市機能を明確にしていくために、現在都内最大級の再開発が進む東京都世田谷区の子玉川地区を社会実験のモデル地区として、クリエイティブな人材、産業が集積し、創造性を刺激し、自発的に成長を促進する都市環境を整えたビジネス地域の創出を目指しています。現在、子玉川ライズオフィス8階の「カタリストBA」を拠点に、73社の企業をはじめ、学識経験者、行政等とも連携して活動しています。

以 上